ベトナム大学生インターン招へい事業を活用し、雇用の幅を広げる

「人を育てることは会社の成長につながる」という理念を掲げ、人材育成を重視しています。

株式会社吉川電機製作所
代表取締役　和田　拓也さん

ベトナムの大学生を受け入れた経緯と動機をお聞かせ下さい。

縁があって４月に初めてベトナム人の女性を採用したことがきっかけで、外国人の雇用が身近な存在となりました。管理職候補を探していたタイミングで知人から紹介を受け、奈良県のベトナム大学生インターン招へい事業を知り、制度の説明会に参加しました。その制度を他社でも活用されていることを知り、自社でも受け入れを決めました。もう少しで１か月となります。

どのような内容のインターンシップですか？

まず日本の働き方や製造業の基礎知識、品質管理、５Ｓなどを学習。１～２週間目に電子部門で電子部品の取り扱いやはんだ付けを学び、実際の製品製作を体験。

３週間目には制御盤製作の工程や製品の流れを学び、協力会社で金属加工の現場も見学。４週間目には、ちょうど東京で開催される展示会に出展しますので、同行してもらい展示会運営や顧客対応を体験。最終段階では、再びものづくりを経験した後、本人が希望していた設計業務に取り組み、インターンシップを締めくくる予定です。

初めての受け入れのため、本人と相談しながら仕事内容を決定していく予定ですが、設計補助や図面作成など専門的な業務にも携わってもらえると思います。全体として、製造現場の基礎から設計業務まで幅広く経験できる実践的なプログラムとなっています。

インターンシップを受け入れられて、印象はいかがですか？

非常に真面目で意欲も高いです。日本文化や奈良への関心が強く、面接時から奈良や鹿について積極的に質問してくれました。また明るく社交的で、奈良公園では自ら外国人観光客に英語で話しかけるなど、コミュニケーション能力も高いです。日本のアニメや漫画、日本文化への憧れに加え、日本の技術を学びたいという思いから来日を希望されたようです。

半導体や電子分野では中国、台湾、インドなどの成長が著しく、日本の優位性は徐々に薄れています。そのような状況でも、日本を選んで来てくれたことは、非常に貴重だと感じていて、彼から学ぶことも多くあります。

外国人だからという文化的な問題はほとんど感じていません。むしろ重要なのは受け入れる企業側の姿勢や教育体制だと思います。

社員の反応や、会社の雰囲気はいかがですか？

初めての受け入れでしたので、当初は、言葉の問題で意思疎通ができるかどうかなど、戸惑う声もありました。しかし今では、彼の明るさや前向きな姿勢が職場全体に良い影響を与えています。仕事のやり方を少しでも教えてあげたいという気持ちが、社員同士の会話や助け合いにつながり、職場の雰囲気がより良くなりました。読み書きはまだ難しいので、日本語の習得支援として、漢字学習を行うなどサポートも実施しています。

今の課題や今後の展望をお聞かせください。

ものづくりには興味があっても、人や工程を管理する仕事を敬遠する傾向があります。業界経験者にこだわらず、生産管理や工程管理などのマネジメント能力を持つ人材の採用を進めています。

また、今後ますます電子機器・産業機器向けの設計・開発分野における人材の確保は、難しくなると考えています。外国人材の雇用は、その課題を解決する有力な選択肢の一つだと思います。

その他にも、有給取得や柔軟な勤務時間など、多様な働き方に対応できる制度づくりを進めていて、社員がそれぞれの事情に合わせて働ける職場づくりを推進しています。

法人 Data

吉川電機製作所

1964年に設立。電子機器・産業機器向けの設計・製造を行うものづくり企業です。電子基板実装と空気圧制御装置（エアパネル）の設計・製造を主力事業としています。電子と機械の両分野を手掛ける技術力が強み。電子基板の設計から実装、組立、検査まで一貫対応されています。空気圧制御盤は国内でも対応企業が少ない分野で、全国のメーカーへ製品を供給しています。

所在地：〒636-0343
奈良県磯城郡田原本町秦庄105番地
従業員数：30名（2026年7月現在）
代表取締役：和田　拓也
TEL：0744-33-2705
URL：https://yoshikawa-electric.co.jp